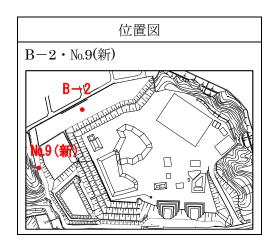
井戸閉塞工法について

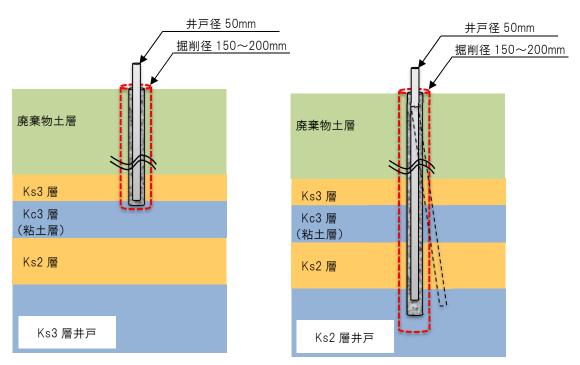
当初は、観測井戸閉塞工について Ks2 層、Ks3 層とも井戸を囲うようにボーリング 掘削を行い、塩ビ管および豆砂利やベントナイト等の充填材を撤去したのち、無収縮 モルタル等で充填する計画としていました。【図-1】

Ks3 層を対象とした浅い井戸はこの方法で撤去できましたが、Ks2 層を対象とした深い井戸 (B-2) や塩ビ管が曲がっている井戸No.9(新)ではこの方法では困難であることがわかりました。

そこで B-2 およびNo.9 (新)の井戸については図-2の方法で閉塞することとします。

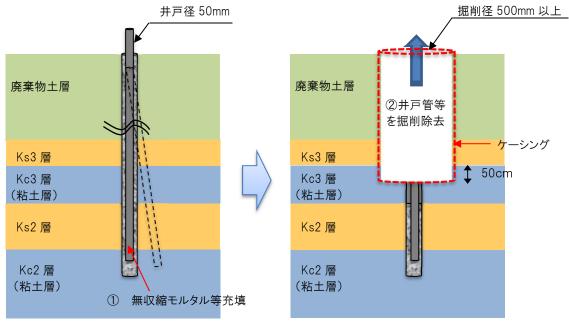


図—1 当初案



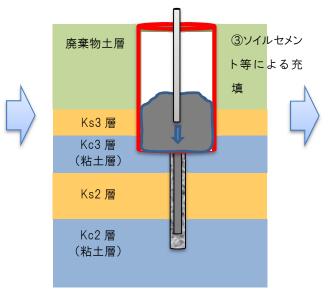
図—2 全旋回掘削工法

掘削口径が大きい「全旋回掘削工法」により井戸管を撤去・閉塞する。

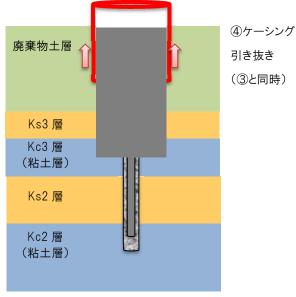


① 塩ビ管に無収縮モルタル等を充填する。

② ケーシングを入れながら、油圧バケットで井戸管をまわりの廃棄物土、地山とともに掘削除去する。KC3 層上面から50 cmまで掘削する。



③ソイルセメント等により充填する。



④ケーシングを引き抜き、閉塞完了。